

# SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・  
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

**NPO法人 地域福祉サポートちた**

## もくじ

□各市町で「円卓型」協働を！・・・1P	□喀痰吸引実施報告……………2P	□Ada-codaの活動報告……………3P
□県内支援センター	□新しい公共フォーラム・あいち…2P	□子若ネットから団体立ち上げ…3P
□情報交換会……………1P	□フォトレポーター交流会……………2P	□NPO職員リレー……………3P
	□NPO会員団体紹介……………2P	□インフォメーション……………4P

## 各市町で「円卓型」協働を進めよう！

2月24日開催「地域をつむぐ縁結び人養成塾」実践報告フォーラムには、ナディアパークの研修会場いっぱいの106人(NPO、行政、企業、社会福祉協議会、大学等)が参加。「地域円卓会議」や島根県雲南市の「小規模多機能自治」への関心の高さが伺えた。

冒頭、雲南市政策企画部地域振興課から板持周治主幹と石田誠副主幹が、まちづくり基本条例で協働を位置づけ、地域自主組織を設置、公民館を交流センターに再編し、住民自治拠点として課題解決活動を推進している現状を語った。

市では、設置していた地域委員会を発展的解消し、主役をテーマ(地域課題)に据え、総合型、分野別、規模別、地域別に円卓会議を進めている。結果、住民が「やってくれない」から「やらしてくれない」へ変わって行く具体例と、コスト削減かつ住民サービス向上を可能にする地域づくりへの、行政としての志を伝えた。

実践報告では、モデル協議①阿久比町総務部政策協働課廣口主事と②知多市南粕谷コミュニティ石井会長から、ポイントを絞って成果と困難だった点を伝えた。両者とも今回の縁を今後につなげていくと、力強く語った。

これを聞き、板持氏が「行政に円卓の意義を伝えるには、職員自身が体験するのが一番。参加者の声かけは一旦公募、その上で出て欲しい人に声かけしていくとよい。庁内でも円卓会議は使える」と応えた。

その後、4人の塾生の報告を聞き、参加者は10グループ

に分かれ、円卓型意見交換を行った。

円卓会議に似たものとしてワークショップやワールドカフェがある



円卓型で行ったグループ別意見交換

が、課題解決を目指す点、時間を掛けて積み上げていく点が異なり、制度設計前の会議として活用が有効との意見や、これまでの会議をまずは円卓で行うなど、すぐできることから活用したいとの積極的な意見が活発に交わされた。なお、記録の詳細は、法人HPを参照されたい。(岡本)

### 豊川で県内支援センターが集結

2月5日にとよかわボランティア・市民活動センタープリオで県内支援センター情報交換会が開催された。どすこいネットでつながる東三河の全市町をはじめ、県と18市町より55名が参加した。

協働をテーマとした意見交換では、食育に関する蒲郡市まちづくりセンターの事例が「地域コーディネーター」のあり方として参考になった。

「新しい公共フォーラム・あいち」での「サポートセンター&中間支援組織の現状・課題と今後の役割」分科会での成果も報告され、センターの機能強化をめざし、他市町の人材・情報が交流でき、相互に活用できるしくみづくりが必要との合意が図れた。まずは、センターづくりからと提案された。(五十嵐)



完成した「地域円卓会議」普及のための冊子

## ■喀痰吸引実施報告

これまで医師・看護師だけに認められていた吸引・胃ろう行為が、平成24年4月の制度変更に伴い、研修を受けた介護職員にも対応可能となった。



シミュレーターを使い、森田貞子講師から1人ずつ手順を学ぶ受講者

研修には、施設等入所の不特定対象（第1号・2号）と、在宅の特定対象（第3号）がある。第3号基本研修を在宅医療に携わっている伊藤光保先生（東海市）や訪問看護ステーションの森田貞子氏（半田市）の監修の下、1月13日、2月2日の2日間で実施した。10名の定員に対し多数申込があり、今回参加できなかった人も多くあったため、次年度以降も開催する予定。（竹内美）

## ■新しい公共フォーラム・あいち



尾張、三河、名古屋、知多の4ブロックに分かれ、意見交換を行った

県主催による新しい公共フォーラム・あいちが1月12日愛知大学名古屋校舎にて行われ、午前には新しい公共に対する理解を深

めるとともに、地域の諸問題について幅広い観点から意見交換された。午後からは、新しい公共の拡大と定着を図ることを目的に、18団体が分科会を企画・運営した。

分科会の一つを知多地域子ども若者支援者ネットワーク会議が運営。「ひきこもり・ニートの中間的就労について地域ネットワーク型支援を考える」をテーマに、参加者が活動する地域ごとに分かれ、連携できる取組の方向性を「地域円卓会議」的に意見交換した。参加した59名の内訳は、NPO25人、行政8人、企業12人、社協4人、大学・学校5人、病院2人、寺社2人、地縁1人。

地域資源等の現状と課題を共有したことで、終了後も継続して協議の場の設置を呼びかける地域の縁結び人が生まれるなど、多様な主体の自主性を促す機会となり、新しい公共の担い手の発掘と地域ネットワーク形成への第一歩としての成果を得た。（市野）

## ☆会員団体紹介☆

### 「NPO法人チャレンジド」

美浜町に事務所を構え、障がいのある方の「地域生活」をサポートしている。平成13年に日本福祉大学に通う障がい学生生活支援から始まり、2年後NPO法人を設立。現在では、障がい者・児へのヘルパー派遣、放課後等児童デイサービス、障がい者講師派遣、日中一時支援等を行う。

平成25年度からは、事業所名：Paka Pakaで多機能型事業（児童発達支援及び放課後等デイサービス）を開始する。事業内容は、①個別療育②ペアレント・トレーニング



及び学習会③家族支援の3つ。①個別療育は、ABA（応用行動分析）という、よい行動の後にはご褒美（大好きなこと）を、悪い行動の後には何も与えないといったような一連の指導をすることにより、発達障がいのある子に必要なスキルを身に付けてもらうという療育手法である。将来のために身辺自立・コミュニケーションスキル・運動スキル・余暇スキルなどを身に付けていく。

療育トレーナーの土肥氏は、ABA療育を実践し「言葉が話せなかった子どもが、3語文を話せるようになった。また冗談も言えるようになり効果を感じている。」と話す。子ども一人ひとりが、社会で生きていくためのスキルを幼児期から身につけていくことは、障がいがあるなしに関わらず必要であり、目の前の子どもに必要なスキルを適切な方法で習得できる環境をつくっていくことが地域で重要だと改めて感じた。（江ノ上）

## ■情報流通促進事業 フォトレポーター交流会

1月26日（土）知多市市民活動センターにて、フォトレポーター交流会を開催した。フォトレポーターとは、地域情報を発信するボランティアスタッフのこと。ケータイ写真でとらえた地域の日々の出来事や伝統行事、店舗や施設情報をサイトへアップし、その地域に住む人に本当に役立つ情報を発信していく。この日の参加はNPO、行政、学生の8名。サイト「愛知まちのたね通信」の概要、時間との勝負となる認知症徘徊の活用法等を意見交換し、関係者に提案していく予定。（市野）

## ■Ada-coda(あーだ・こーだ)の活動報告

1月から2月にかけて、知多市内中学校2校より2名ずつ3日間の職場体験を受け入れた。デザート作りに挑戦した中部中学生(写真右)、盛り付け・接客・洗い物に汗した知多中学生、それぞれが自ら考えて動くことの大切さ・大変さ、多様な方とのコミュニケーションの取り方を学んだ。これは「あいち・出会いと体験の道場」で、中学生に社会性を身につけてもらうため、学校と地域が連携を深めての地域一体化支援を担う。



「お客様のために」、得意なわらびもち作りに力が入る

お客様の「頑張ってるね」が嬉しかったと、体験を終えての感想。また、多様でゆるやかな関わりの中の成功体験がきっかけで、家庭内での親子のコミュニケーションが増えたと、嬉しい報告もあった。(江端)



シェフ自慢の韓国料理をみんなで囲んでの楽しい食事

1月21日、26日キムチ教室、2月9日スイーツ教室を企画、キムチ教室初日は9名、2日目は10名、スイーツ教室は7名が参加した。講師のシェフのえびちゃんはAda-codaだけでなく、地域の縁結び人。ゆえ

に教室の材料は、家庭菜園が得意な市民活動センターに集う方からの提供。スイーツ教室は大人に交じって小学生も加わり、シェフ【ジャスミン】から“おもトリュフ”と“ナッツトリュフ”を教わった。作った後の試食会では「子どもでも簡単にできる。」「美味しい。」「色々な人との話が楽しかった。」などの会話が弾んだ。

市民カフェAda-codaは、食を通じて個人の輝く場の提供や市民交流の場として、これからもたくさんの人との出会いの場づくりを企画する予定。(竹内由)



手渡す人へ…ラッピングにも心をこめて丁寧に

## ■子若ネットメンバーが法人(申請中)立ち上げ

平成22年4月より結成された子ども・若者支援者ネットワークのメンバーが【サポートネット「ゆっか」】を立ち上げる。内覧会は、3月10日(月)13時～場所は知多市つつじが丘4丁目29-1。主な事業は相談支援。不登校・ひきこもり・発達障がい・親子関係・子育て等、子どもや青年に関する保護者及び本人や、仕事やボランティアとして青少年に関わる方を対象にしている。今後は、保護者の学習会や段階的の居場所としてのミニグループ活動、就労支援等にも取り組む予定。

### NPO担当職員リレー

日進市市民生活部市民協働課市民協働係

主事 大竹美帆さん



就職が決まっていたが、ゼミ教諭の勧めで地元を意識して受験したのが日進市。

入庁すぐに市民協働課への配属が決まり、NPOや協働についての勉強が始まった。日進市は公益法人が多く、初めて知ることばかりとはいえ、仕事を通じて直接関わりながら体得できた。イベントの広報も協力してもらいながら、人のつながりのありがたさを肌で感じている。

日進市では、市民参加及び市民自治活動条例が平成24年10月1日から施行され、条例設置の周知を庁内と市民活動団体に行っている最中。大切に思うことは、市民参加の促進をどう呼び掛けるか、関心のない人への働きかけをどうするのか、試行錯誤しながら進めている。(テーマ提示型)公募提案型協働事業「市民自治活動推進事業」(平成24年度から名称変更)と日進市市民自治活動推進補助金の理解促進を深め、さらに活用してもらうために多忙な毎日を送っている。

顔の見える関係ができて初めて対等な立場で話し、そこから「絆」づくりが始まる。3年目の今、このつながりが楽しいと思える。(市野)

☆:.\*.☆..°.☆:.\*.\*:..°.☆..°.☆:.\*.:

### 新会員紹介

☆ご入会ありがとうございます☆

【準会員/団体】

(N)あつとわん

【準会員/個人】

武市雅也さん

☆:.\*.:..\*.☆..°.☆:.\*.:.\*☆°.:.°.☆

# サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

## ■第4回あかり感謝まつり ～“きらり”1周年～

<日時>3月10日(日) 10時～15時  
<場所・問合せ>街かどサロンきらり(地域交流拠点施設)  
常滑市塩田町1-155 ☎0569-35-4185  
<内容>♪フルーピアコンサート、あかりの活動展示など  
軽食・ぜんざいを準備(無料)。フリマ出展者募集中。

## ■ひろげよう地域の輪 あんだんてによつといで 2013

<日時>3月16日(土) 10時～14時  
<場所・問合せ>親子の広場あんだんて  
東浦町藤江西ノ宮80-1 ☎0562-85-0406(FAX兼)  
<内容>パンやシフォンケーキ、うどん等の販売。  
ミニミニコンサート、南京玉すだれ等遊びがいっぱい

## ■新青樹 ～若者の居場所づくり～

### 【プレーパークらんらん春休み臨時開催(無料)】

<日時>3月25日(月)～30日(土) 10時～16時  
<場所>東海市中ノ池公園

### 【知多半島春の音楽祭 in どんでん広場】

「Stage2×2」地元ミュージシャンによるライブを開催。  
<日時>3月31日(日)午前10時～ 観覧無料・雨天中止  
<場所>東海市 名鉄太田川駅前 どんでん広場  
<問合せ>(N)新青樹 ☎0562-87-0159

## ■起業の学校 第9期 入学申込受付開始!

～まずはオープンキャンパスへお越しください～

コミュニティビジネスとは、地域福祉やまちづくりなど、地域に・社会に働きかけ、顧客や仲間のニーズに応じて、小さくても現実を変え、あるいは創造するための事業。

起業の学校は、そんなコミュニティビジネス・身の丈起業を目指す皆さんに、ご自身の起業に向けた7ヶ月間の連続講座を提供するプログラムです。(無料・要申込)

<日時>3月23日(土) 14時～16時  
<会場>名古屋都市センター14階 第1会議室(金山駅南口)  
<連絡先・申込先(メール・電話にて)>(N)起業支援ネット  
☎052-486-4101 FAX052-486-4103  
Eメール: aile@npo-kigyo.net (担当:森・久野)

## スタッフ・ボランティア募集のお知らせ

### ■障害者相談支援<スタッフ>

<勤務形態>正規職員・パート  
<内容>障害者(児)の計画作成が始まりました。福祉サービスを利用する人は、高齢者と同じようにサービス利用計画が必要です。ゆめじろうでは、武豊町・美浜町・南知多町 3町を対象に作成を行っています。計画作成やその補助、その他相談支援事業の業務補助をしていただきます。

※障害者(児)福祉サービス5年以上経験者、相談支援専門員資格のある人の優遇あり。

<場所>ゆめじろう事務所  
<問合せ>(N)ゆめじろう ☎0569-72-2963  
<その他>障害のある人と家族の日々の生活を支えるため、寄り添い、共に考える支援をしていきませんか。

### ■知的障がいのある子どもたちと過ごしてみませんか? <ボランティア>

<内容>知的障がい児の放課後・休日の支援として「日中一時支援」を行っています。室内で子どもたちと遊んだり、休日はお弁当を食べ、公園やコンビニに出かけたりします。日時はご都合にあわせてお引き受け下さい。土日・長期休暇、歓迎。

<場所・問合せ>知多地域障害者生活支援センターらいふ  
☎0562-34-6293 Eメール: life-neco@aikouen.jp

### ■デイサービスの生活相談員<スタッフ>

<内容>勤務時間 9時～16時 週2日以上勤務。  
850円/時間+資格手当有  
<資格>教員(福祉課程の単位取得者)・保育士免許・介護福祉士免許のいずれかをお持ちの方。  
年齢・性別は問いません。  
<場所・問合せ>(N)東海市在宅家事援助の会ふれ愛  
☎0562-36-0085 (担当:佐々木)



## NPO現場見学バスツアー

日時:3月19日(火) 9:30～16:30  
地域ネットワーク型 就労支援を学ぶ  
参加費:5,000円(昼食代別途)  
オプション企画は要相談(江端)

※大型免許ドライバー募集中!



特定非営利活動法人  
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1  
知多市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631  
Fax 0562 (33) 1743